

第3学年 国語科学習指導案

指導者

- 1、日時 2020年 10月 1日(木) 第3時限目
- 2、学年・組 3年1組
- 3、単元名 「想ぞうを広げて物語を書こう」
- 4、単元の目標

○絵から想像を広げて、「設定メモ」をもとに、意欲的に物語を書くことができる。

【 B (1) ウ 】

○絵から想像を広げ、人物の性格や様子を想像して「設定メモ」を書くことができる。【 (1) オ 】

○書く内容の中心を明確にし、場面ごとに文章の構成を考えて物語を書くことができる。【 B (1) イ 】

○物語文を友達と読み合って、感想や意見を伝え合い、文章の良いところを見付けることができる。【 B (1) オ 】

- 5、指導にあたって

(教材観)

本単元は、四枚のうち三枚の絵を見て、抜けている三場面の絵を想像し、絵に描かれた人物の様子や性格、会話、行動を想像して物語を書くことができる教材と考える。場面ごとの人物の行動や会話、気持ちの想像を広げて、筋道の通った物語を書く力を身につけることができる。「設定メモ」を作成し、「時」「場所」「人物の特徴」などの設定を考え物語を書くことで、書く内容の中心が明確になり、場面ごとに、文章を構成する力をつけることができる。また、出来上がった物語には、書き手の個性が出てくるので、個性の違いを楽しみながら、自分の考えた物語を読むだけでなく、お互いの物語を読み、良さを見つけて感想を伝え合う力をつけることにも適した教材であると考えられる。

(指導観)

本単元の指導においては、それぞれの絵に描かれている場面と場面のつながりに注意しながら、構成を考えることをさせたい。物語を完成させた後は、友達とお互いに物語を読み合い、認め合いながら感想を伝えることができるようにしたい。また、絵を見て会話文を考え物語を構成するなど、楽しんで物語を書く活動を展開し、児童の興味や関心を高めていきたい。児童の興味や関心を高めるために、ペープサートを用いて、「会話文」を考えやすくし、お面を用いた発表を行いたいと考える。

第一次では、人気のキャラクターを用いて、キャラクターの「人物の特徴」について考えることで、学習内容に興味や関心を高める。今回の教材である三枚の絵を見

て、「場」「時」「人物の特徴」などの設定を考え物語を書くことの学習課題や、学習の流れを提示し、見通しを持たせる。

また、絵を見て人物の性格や様子、どんな出来事なのかを想像して、「設定メモ」を書かせる。

第二次では、絵や「設定メモ」をもとに、それぞれの場面の会話文を想像し、会話文を書かせる。また、場面と場面のつながりを考えて物語を書かせる。その際に、「会話文」だけにならないことに注意する。自分が想像して書いた「会話文」を友達と交流し、想像の幅を広げて物語が書けるようにする。

第三次では、出来上がった物語をクラスで読み合う。自分や友達が書いた物語の違いや良さを見つけ伝え合い、物語から個性の違いを感じたり、想像の違いに気付いたりして学習を振り返らせる。

6、指導計画

次	時	目標	学習活動	評価基準
1	1	○学習の見通しを立てる。	○登場人物の設定や場面を考えて物語を書くという学習課題を確かめる。 ○3枚の絵から、物語のあらすじを想像し、三場面の挿絵を書く。 ・二場面では、登場人物が困っているが、四場面では、解決していないことに注目させる。 ○登場人物の、名前や性格などを想像して「設定メモ」を書く。	○絵から想像を広げて物語を書く活動に、興味を持って意欲的に取り組もうとしている。 【主】(発表・行動観察) ○絵から想像を広げ、絵の中の人物について書いている。【(1)オ】 (ワークシート)
2	2	○「設定メモ」をもとに、一・二場面の会話文と物語を書く。	○「設定メモ」をもとに一・二の場面の登場人物の会話文を考える。 ○会話文をもとに、物語を書く。	人物の行動や会話、場面と場面とのつながりを考えて、物語を書いている。【B(1)イ】(ワークシート・ノート)
	3	○「設定メモ」をもとに	○一・二場面で書いた物語	人物の行動や会

	本時	とに、三・四場面の会話文と物語を書く。	や、「設定メモ」をもとに、三・四場面の登場人物の会話文を考える。 ○会話文をもとに、物語を書く。	話、場面と場面とのつながりを考えて、物語を書いている。【B(1)イ】(ワークシート・ノート)
3	4	○物語の発表会を行う。 ○書いた物語を読んで、感想を交流する。	○書いた物語を読み合い、おもしろいと思ったところや、楽しいと思ったところを伝え合う。	○物語を読み合い、感じたことや思ったことを伝え合っている。【B(1)オ】(発言・行動観察)

7、本時の学習(本時 3時 / 4時)

(1) 本時の目標

○「設定メモ」をもとに、三・四の場面で起こった出来事を考え、物語を書くことができる。

学習活動	指導上の留意点(指導と支援)	準備物
1、前時の学習を振り返る。	○前時までの、物語を書く学習を振り返る。 ・前時までの挿絵を見て、学習を想起する。 ・「物語を書く時に大切なこと」を確認する。 (大切なこと) ・「時」「場」「人物」は一場面を書く。 ・「会話文」だけの文にしない。	挿絵
2、本時の学習課題を確認する。	○本時の学習課題を確認する。	設定メモ
三・四場面の想像した会話文をもとに物語を書こう。		
3、三・四場面の挿絵を見て会話文を書く。	○三・四場面の会話文を書く。 ・たぬきとネズミがどんな会話をしている	

<p>4、会話文をもとに、物語を書く。</p> <p>5、まとめを行う。</p>	<p>るか考え、「設定メモ」をもとに、会話文を吹き出しに書くように声かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童や、戸惑っている児童には、ペープサートを活用したり、動作化で考えさせたりしながら、会話文が書けるようにする。 <p>○会話文をもとに、物語を書くように声かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物や場面の様子が伝わるように、言葉や表現を工夫して物語を書かせる。 <p>○本時の振り返りを行い、次回は作った会話文をもとに、物語の発表をすることを伝える。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>
--	---	-----------------------------

(板書計画)

